

生産は主要業種が牽引し続伸、消費も概ね堅調に推移

12月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、5 カ月連続の前年同月比プラスとなった。汎用・生産用機械工業（前年同月比+36.3%）や輸送機械工業（同+21.7%）など6 業種が上昇した。

1月の大型小売店販売（百貨店・スーパー）は、既存店（店舗調整後ベース）で同+2.9%と3 カ月連続のプラス、専門量販店別では、ドラッグストアが同+5.4%と32カ月連続のプラスとなった。

1月の新設住宅着工戸数は、同▲13.2%と2 カ月連続のマイナスとなった。利用関係別では、分譲が同▲18.2%、貸家が同▲17.4%と減少幅が大きい。

各指数の矢印については
現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

鉱工業生産指数



前年同月比5 カ月連続プラス(12月)

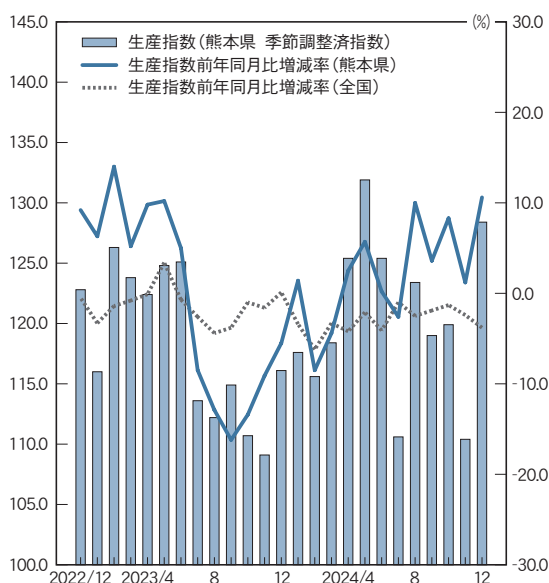
12月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、速報値で前年同月比+10.6%の128.4と5 カ月連続のプラスとなった。

生産指数（季節調整済）を業種別にみると、汎用・生産用機械工業（前年同月比+36.3%）や輸送機械工業（同+21.7%）など6 業種が上昇した。一方で、木材・木製品工業（同▲30.5%）や電子部品・デバイス工業（同▲3.9%）など10業種が低下した。

業種別寄与度を見ると、汎用・生産用機械工業が+15.12ポイント、食料品・たばこ工業が+1.40ポイント、輸送機械工業が+0.98ポイントとなり、全体の生産指数を押し上げた。

なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路（原指数）は172.2（同▲0.9%）と下落した。

鉱工業生産指数前年同月比（2020年=100 季節調整済）



※最新月は速報値

資料：熊本県統計調査課、経済産業省

住宅着工



着工戸数は2カ月連続の前年比マイナス(1月)

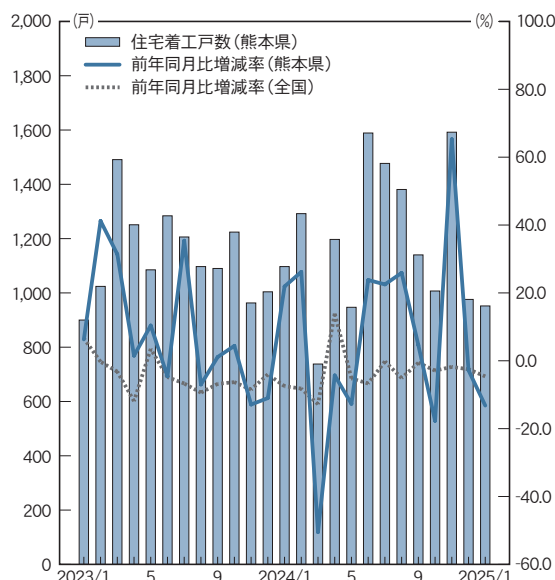
1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比▲13.2%の952戸となり、2カ月連続のマイナスとなった。

利用関係別にみると、持家が246戸（前年同月比▲1.2%）、貸家は455戸（同▲17.4%）、分譲は242戸（同▲18.2%）となっている。

持家が前年同月比マイナスとなるのは2カ月連続。また、2024年11月に大きく増加した貸家の着工戸数も2カ月連続のマイナスとなった。

なお、全国の1月の新設住宅着工戸数は、56,134戸（同▲4.6%）となっており、9カ月連続マイナスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

公共工事



請負金額は前年比プラス(2月)

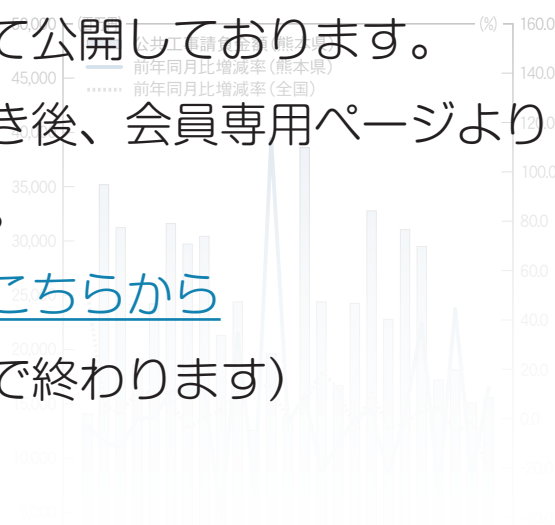
2月の公共工事件数は前年同月比▲27.4%の247件となり、請負金額は同+12.7%の155

億61百1千万円（前年同月比+52.4%）、県は41億88

百万円（前年同月比+52.4%）、県は41億88百万円（同+42.8%）、市町村（除熊本市）は24億30百万円（同▲25.5%）となつて

地区別では県内11地区のうち、玉名地区、宇城地区などの5地区が前年比プラスとなった。青北地区、鹿本地区などの6地区がマイナスとなった。

公共工事請負金額前年同月比



以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方はここから](#)